



縄文学びのガイド

先生向け

北の縄文を学ぼう！
ビデオクリップ⑤～縄文×SDGs～





ビデオクリップ 解説 (SDGs について)

《5つのP》



人間 (people)

すべての人の人権が尊重され、尊厳をもち、平等に、潜在能力を発揮できるようにする。貧困と飢餓を終わらせ、ジェンダー平等を達成し、すべての人に教育、水と衛生、健康的な生活を保障する

地球 (planet)

責任ある消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通して、地球を破壊から守る

豊かさ (prosperity)

すべての人が豊かで充実した生活を送れるようにし、自然と調和する経済、社会、技術の進展を確保する

平和 (peace)

平和、公正で、恐怖と暴力のない、インクルーシブな（すべての人が受け入れられ参加できる）世界をめざす

パートナーシップ (partnership)

政府、民間セクター、市民社会、国連機関を含む多様な関係者が参加する、グローバルなパートナーシップにより実現をめざす

SDGsの17の目標は人間・地球・豊かさ・平和・パートナーシップの「5つのP」に分類されます。一つ分野の取り組みが他の分野にも影響することを考え、ひとりひとりが行動することが大切だとされています。

画像の出典：国連広報センター「SDGsを広めたい・教えたい方のための「虎の巻」」

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/



ビデオクリップ 解説（北海道・北東北の縄文遺跡群とSDGs ①）

SDGs

北海道・北東北の縄文遺跡群とSDGsの共通点（イメージ）



縄文時代は自生するものが食料の中心であったが、土器の使用による食料の保存を行うことで貧困状況を極力回避していた。



縄文時代は自生するものが食料の中心であったが、土器の使用による食料の保存を行うことで貧困状況を極力回避していた。



限られた資源や技術のもとでも当時の人々がハンディキャップのある仲間の人権を認め、福祉の実現に努力していたことがわかる。



例えば、入江貝塚の墓域からは筋萎縮症に罹患した成人男性の人骨が検出されており、長期にわたり周囲の人々の手厚い介護を受けながら日常生活を送っていたことを示しているように、集落内の不平等を解消するために共助行動をとっていたことも想定される。



一つの場所に約9000年も住み続け、持続可能で環境の変化などにも強靱な社会を築いていた。



縄文時代の人々は、クリ林を管理するなど自然管理も行っており、資源管理という点においても一定の持続可能性をもっていたと考えられる。



ビデオクリップ 解説（北海道・北東北の縄文遺跡群とSDGs ②）

SDGs

北海道・北東北の縄文遺跡群とSDGsの共通点（イメージ）

12 つくる責任
つかう責任



縄文遺跡群に見られる貝塚、盛土遺構、水場遺構などの施設では不要になったものをただ捨てるのではなく、感謝の儀礼や生命の再生への祈りを 행っていた可能性がある。

14 海の豊かさを
守ろう



季節や環境に合わせて釣りや網漁、貝などの採集を行い、儀礼や祭祀という形で資源の維持にも配慮していたと思われる。

15 陸の豊かさも
守ろう



縄文時代の人々は、クリ林を管理するなど自然管理も行っており、資源管理という点においても一定の持続可能性をもっていたと考えられる。

16 平和と公正を
すべての人に



縄文時代の遺跡からは、大きな争いごとをした跡が見つかっておらず、平和な生活を長期間行っていたことが想定される。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



持続可能な開発目標で掲げられているような取組を、集落内の人々と協力しながら行っていたことが想定される。



調べ学習について

タイトル

1. はじめに
(調べたいと思った理由を書こう)

2. 予想 (仮説)
(調べる前にこたえを予想してみよう)

3. 調べ方
(どんな調べ方をするか考えよう)

4. わかったこと
(実際に調べてわかったことを書こう)

4では、イラストや写真なども入れよう。

5. 感想
(予想とわかったことが同じだったのか、違っていたのか、どうして違っていたのかなど書こう)

6. 参考にした本など
(調べるのに使った本や見たホームページを記録しよう)

児童・生徒たちの調べ学習を補助する教材として、調べ学習のひな型を作成しました。適宜、ご活用ください。

ワークシート

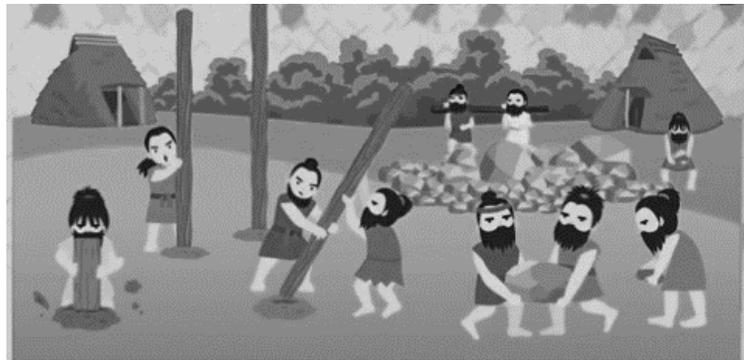
解説

ねん 年
くみ 組
なまえ 名前

きた じょうもん まな
北の縄文を学ぼう!

じょうもん えすでいーじーず
ビデオクリップ⑤～縄文×SDGs～

じょうもんじだい く かた
①縄文時代の暮らし方はどんなところが持続可能な暮らし方になっているだろう。イラストを見て考えてみよう。



くら かた
暮らし方

じぞくかのう てん
持続可能な点

協力し合いながら狩りをしている。

【答え】集落のみんなで協力し合って生きているところ。
【解説】集落内での協力関係に言及できればよい。

自然にあるものを中心に暮らしている。

【答え】動物や植物をとりすぎないところ。
【解説】一定の資源管理を行ったことも言及できればよい。

協力し合って家を建てている。

【答え】集落のみんなで協力し合って生きているところ。
【解説】集落内での協力関係に言及できればよい。

ワークシート

解説

きた じょうもん まな
北の縄文を学ぼう!

じょうもん
ビデオクリップ⑤～縄文×SDGs～

ねん 年
くみ 組
なまえ 名前

じょうもんじだい じょうもんじだい じょうもんじだい じょうもんじだい
②縄文時代の暮らし方を参考にして、今のわたしたちができるSDGsのためにできることを考えてみよう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



じぞくかのう かいほつもくひょう じょうもんじだい じょうもんじだい
17つの「持続可能な開発目標」のうち、縄文時代の暮らし方に共
通すると思ふ番号を選んで、その目標を達成するためにわたしたち
ができることを考えよう。

え もくひょう 選んだ目標	わたしたちができること
飢餓をゼロに	【答え】給食や家のご飯を残さず食べる。 【解説】身近な暮らしから自分事に置き換えられるよう促すことが望ましい。
海の豊かさを守ろう	【答え】ゴミを分別し、ポイ捨てしない。 【解説】身近な暮らしから自分事に置き換えられるよう促すことが望ましい。
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	【答え】電気のスイッチをこまめに消す。 【解説】身近な暮らしから自分事に置き換えられるよう促すことが望ましい。